実践記録

「笠縫東いきもの自然学校」プログラム②
「ほたるフェスタ」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2026.5.30 17:05～21:15	笠縫東まちづくりセンター 葉山川土手　環境衛生センター	55名 子ども 30名 大人　25名	鈴木道弘先生	57名 まち協等43名　まち協事務局3名　　市6名 草津塾2名　　プログラムリーダー3名

○挨拶・スタッフ紹介・日程説明・・・中井校長　田中様　17:05

○急遽、参加親子より、タラヨウの葉に関するレポートを発表。17:15

折り紙でホタルとうちわ作り　17:20～18:10

■講師・・・民生委員児童委員(12名)　健康推進員(6名)

活動場所・・・2階和室(1・2・3班)　2階小会議室(4・5班)

①折り紙でほたるづくり【写真①】

各班に民生委員児童委員と健康推進員の方が入り指導・支援にあたる。

②折り紙でうちわづくり

作ったホタルやシール、折り紙をうちわに貼り付け装飾する。

○後片付け→大会議室へ移動　17:55

○おにぎりタイム　18:10　➡　うちわ紹介　18:40【写真⑥】


①


①

紙芝居　18:45～18:55

■今年度より笠縫東こども園の先生に加え子どもスタッフも担当する。

「ゲンジボタルのゲンちゃん」・・・読み手:子どもスタッフ2名【写真②】

「ホタルくんとカエルさん」・・・読み手:笠縫東こども園の先生

※子どもスタッフは当日の朝少し練習しただけだが、臆することなく取り組めた。


②

ほたるに関する話　18:55～19:30

■講師・・・鈴木 道弘先生

■生物多様性の学び・・・ホタルを通して、生物多様性の恩恵や人間生活との関わりを考える。

資料:ホタル学習「ホタルと友だちになろう！」　クイズを交えながらスライドで説明　【写真③】



③

○「ホタルを見たことがありますか？　さわったことはありますか？」

○「ホタルはなぜ光るのですか？ ホタルの光はね・・・」

・目を楽しませ心を和ませる・自然のすばらしさを伝える

・ふれあいの場をつくる　　・世代を超えた交流を促す

➡ 生物多様性の恵みの一つ「文化的サービス」に気づく

○「ホタルがすむ環境が変化しています」

・河川改修・浚渫工事・宅地開発などによる環境変化

・人間の暮らしの夜行性化はホタルにとって「光害」

➡ 日常生活や社会活動の変化が生物多様性に与える影響に気づく


③

○「ホタルから思うことは・・・」

・人間は生態系の頂点。自然の恵みの中でいろいろな生き物たちに支えられ生きている。

➡ 生物多様性の重要性に気づく

・自然の営みの中、人間の豊かさや便利さだけを求めるのではなく、いろいろな生き物たちが生きている環境を考えることが大切である。

➡ 生物多様性と人間生活との関わりを考える

実践記録

○ほたる観察の説明・諸注意　19:30

○トイレ休憩→駐車場へ移動→班ごとに人数確認　19:35

ホタル観察　【写真④】　19:45～

○観察ルート

まちセン →まちセン裏の葉山川 →環境衛生センター →葉山川→まちセン

○安全対策

①各班にスタッフ2名　②行燈設置　③危険個所に各町内会よりスタッフ配置

④観察前後で人数確認

○ホタル出現状況

昨年度と比べ葉山川で飛び交う姿が多く見られた。環境衛生センター前の中ノ井川は今年度も少なかった。

○班スタッフの活躍

先頭に立ち声掛けをする姿や参加者とふれあう姿が見られた。

○参加者の感想

・ホタルが花火みたいできれいだった。大体1秒ずつついて消えていた。
・花火もホタルもすごかった！　ホタルが大量なのが意外！　ビックリしました。
・ほたる観察が心に残りました。何十年ぶりに本物の飛んでいるホタルを見れたので。
・山手にしかいないと思っていましたが、町中の下流域にいることを初めて知りました。

○まちセン到着　20:40

班ごとに人数確認　→報告　→大会議室へ


④


④



④

振返り・連絡・講師へのお礼　20:45～21:15

今日一日の活動を振返り用紙に記入する。(以下感想例)

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

・ホタルを見たことと うちわをつくることが楽しかった。きれいで楽しかった。
・光っている色がとてもきれいですごかったです。最後ホタルが手にのったかもしれないので、すごく嬉しかったです。
・子どものころ兄弟で葉山川で蛍を見た記憶があったのですが、今もまだたくさんいると知れてすごく嬉しかったです。


受付

質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

・ホタルは5日間しか生きられないことを初めて知りました。
・ホタルを初めて見てあんなに小さかったんだと気づいた。
・近所でホタルがこんなに見られるのが驚きでした。
・ホタルの生育環境が少なくなったことを初めて知った。
・幼虫の時に貝を食べることと、今の時間オスが主に光ることを初めて知った。


⑥

質問3　その他　思ったことなどは？

・2回目の班リーダーをやって楽しかったし、とても話が良く分かりました。
・副リーダーの人がずっと手を握ってくれていてとてもやさしかったです。ありがとう お兄ちゃん。
・この環境を守っていく必要があると感じました。
・良い学びと良い体験、子ども同士の交流などすべて貴重な体験です。お手伝いをさせていただけて子どももやる気がみなぎり生き生きしていました。本当にありがたいです。


⑤

○講師へのお礼を子どもスタッフ2名より　21:10 【写真⑤】

■本実践の評価は別紙参照

別紙　令和8年度「笠縫東いきもの自然学校」プログラム②の評価